

教科・科目	対象学年	単位数	教科書名	使用教材	
芸術・書道Ⅰ	普通科1年	2	書Ⅰ(光村図書)	五體字類	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の鑑賞と臨書を通して、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。 ・書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい、豊かな感性と、素直に表現する創造性を養う。 				
月	単元	学習内容	到達度目標		
4	楷書 ・『孔子廟堂碑』 ・『九成宮醴泉銘』	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を鑑賞し、その印象を発表し合う。 ・各古典の臨書学習で、基本的な点画や用筆法・運筆法を学ぶ。 ・自分で選択した熟語を、これまでに臨書したいいずれかの古典の書風で創作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各古典を鑑賞し、時代背景をふまえた知的側面からの理解ができる。 ・各古典の用筆・運筆・字形の取り方を理解する。 ・各古典の特徴を把握し、創作作品を仕上げるができる。 ・創作作品について鑑賞し、意見を述べる。 		
5					<ul style="list-style-type: none"> ・『雁塔聖教序』 ・『願成家廟碑』 ・『造像記』
6					
7	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・印と篆刻について知る。 ・白文で名前の印を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の使い方を理解する。 ・印が自分の顔となるように、個性的なものを作る。 		
9	行書 ・『蘭亭序』	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の字形の取り方。 点画の省略・変化・筆脈・墨量等を実際に臨書し学ぶ。 ・『蘭亭序』から半紙5枚を清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の鑑賞により、多様な表現を理解する。 ・運筆のリズムと抑揚を観察できる。 ・実際に臨書して、字形の取り方を理解する。 ・三筆・三蹟の書を鑑賞し、日本の書の流れを理解する。 		
10					・『風信帖』
11	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの思考や感動を表現できる語句や詩選び、今までの古典を参考に漢字と仮名を調和させ、作品を制作する。 ・完成した作品を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の用筆法を応用し、漢字と仮名の調和を図りながら語句や詩に合った表現ができる。 ・完成した作品を鑑賞し、制作意図や工夫した点を発表する。 		
12					
1	仮名 ・『いろは歌』	<ul style="list-style-type: none"> ・単体・連綿・変体仮名の練習。 ・『高野切第三種』の臨書により連綿の変化と運筆のリズムをつかむ。 ・『寸松庵色紙』の臨書で散らし書きを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の歴史の中で仮名が完成するまでを理解する。 ・仮名作品を鑑賞し、多様な表現を理解する。 ・仮名独特の用筆法と流れを理解する。 		
2					・連綿
3					<ul style="list-style-type: none"> ・『高野切第三種』 ・『寸松庵色紙』